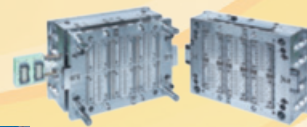
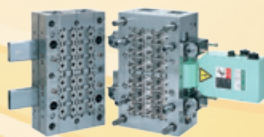


第60期 中間期

株主通信

(2024年1月1日～2024年6月30日)



株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
2024年12月期の中間期株主通信をお届けいたします。

社訓(私たちの価値観)

「技術は命」「良品は力」「誠意は道」

 不二精機株式会社



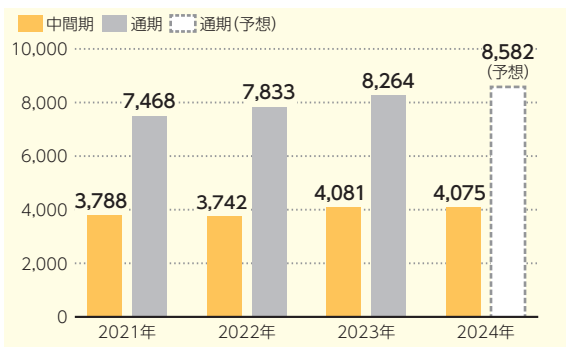
証券コード: 6400



連結財務ハイライト

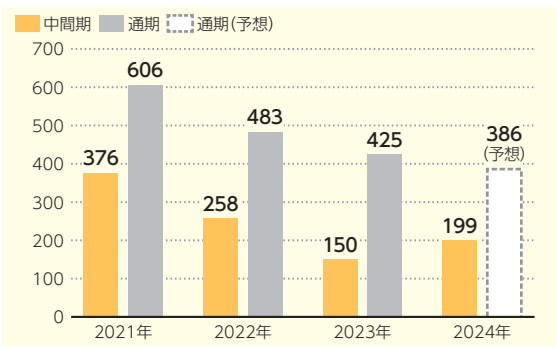
売上高

(単位:百万円)



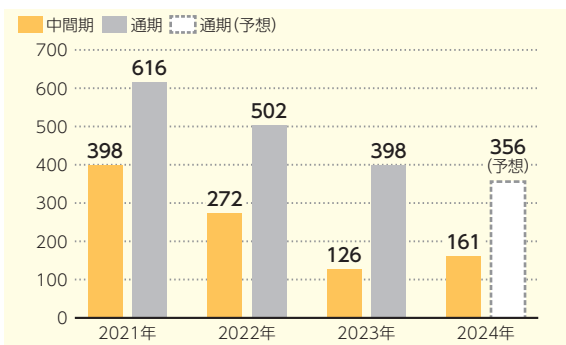
営業利益

(単位:百万円)



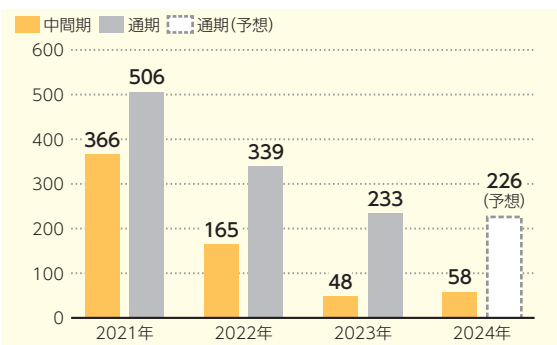
経常利益

(単位:百万円)



親会社株主に帰属する中間(当期)純利益

(単位:百万円)



(注) 各指標の金額は、百万円未満を四捨五入しております。

概況

2024年中間期の売上高は、前年同期に比べ、精密成形品その他事業が増加したものの、射出成形用精密金型及び成形システム事業が減少したため、前年同期比5百万円減(0.1%減)の40億75百万円となりました。

営業利益は、射出成形用精密金型及び成形システム事業において受注条件が厳しくなったことや、鈴鹿工場でのEV(電気自動車)向け部品の開発費の増加はありましたが、精密成形品その他事業で利益率の改善があったため、前年同期比48百万円増(32.3%増)の1億98百万円となりました。

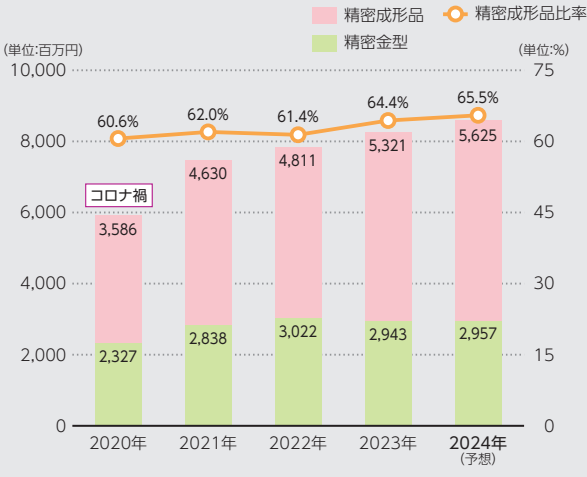
経常利益は、営業利益が増加したものの、営業外費用が12百万円増加したため、前年同期比35百万円増(28.0%

増)の1億61百万円となりました。

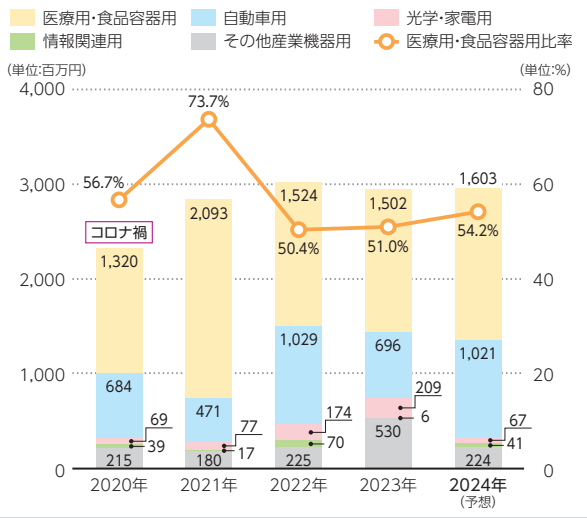
この経常利益に、特別損益、法人税等を加え、親会社株主に帰属する中間純利益は、前年同期比10百万円増(22.0%増)の58百万円となりました。

2024年は、特に精密成形品その他事業において自動車部品の受注継続・拡大に注力し、2023年10月に操業開始した鈴鹿工場を拠点として次世代のEV関連部品などの新製品への研究開発投資・設備投資を重点的に実施しております。当社グループの将来を見据えた、この研究開発・設備投資により、2024年は営業利益の伸びの鈍化を予想しているところですが、将来の確実な成長の礎となるよう努めて参ります。

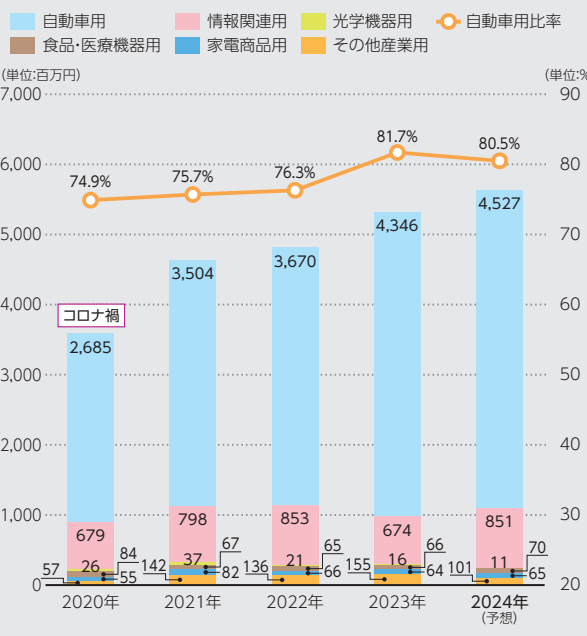
事業セグメント別売上高推移



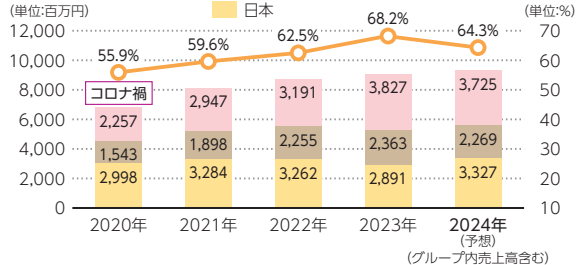
精密金型事業分野別売上高推移



精密成型品事業分野別売上高推移



地域別売上高推移



(注) 各指標の金額は、百万円未満を四捨五入しております。

事業セグメント別

当社の事業セグメントは、祖業であり競争力の源泉であります精密金型事業と、2001年の上場を機に参入した精密成型品事業で構成されております。

精密金型技術を活用した精密成型品事業の売上高比率は、2014年以降、売上全体の約60%程度で推移しております。

中期的な方針として売上規模の拡大は、自動車用分野を中心とした精密成型品事業(下記、精密成型品事業<分野別>資料をご参照ください。)で計画しております。

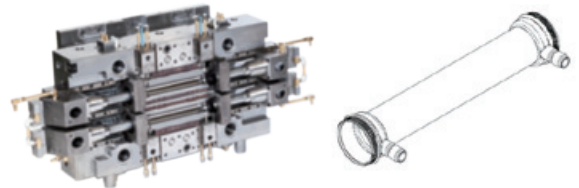
2024年につきましては、精密金型事業での安定的な受注の継続及び精密成型品の増産による売上高の増加を目指しております。

精密金型事業<分野別>

精密金型事業は、価格競争に陥る分野とは一線を画し、売上規模の拡大ではなく、より付加価値の高い領域への集中を進めております。

医療用関連分野・食品容器関連分野からの受注活動に注力し、併せて研究開発活動による他社との差別化及びDXを活用したコスト構造の改革による利益率の向上を目指しております。

【人工透析部材用金型】



精密成型品事業<分野別>

精密成型品事業は、長期安定生産につながる自動車部品(2輪・4輪)分野の拡大を計画的に進めております。

品質保証体制のレベルアップを着実に実施し、今後の受注への対応のための増産体制の整備を順次実行しております。

今後拡大が予想されるEV向けなどの新製品開発を鈴鹿工場を拠点に進めて参ります。

【4輪車関連の受注部品例】



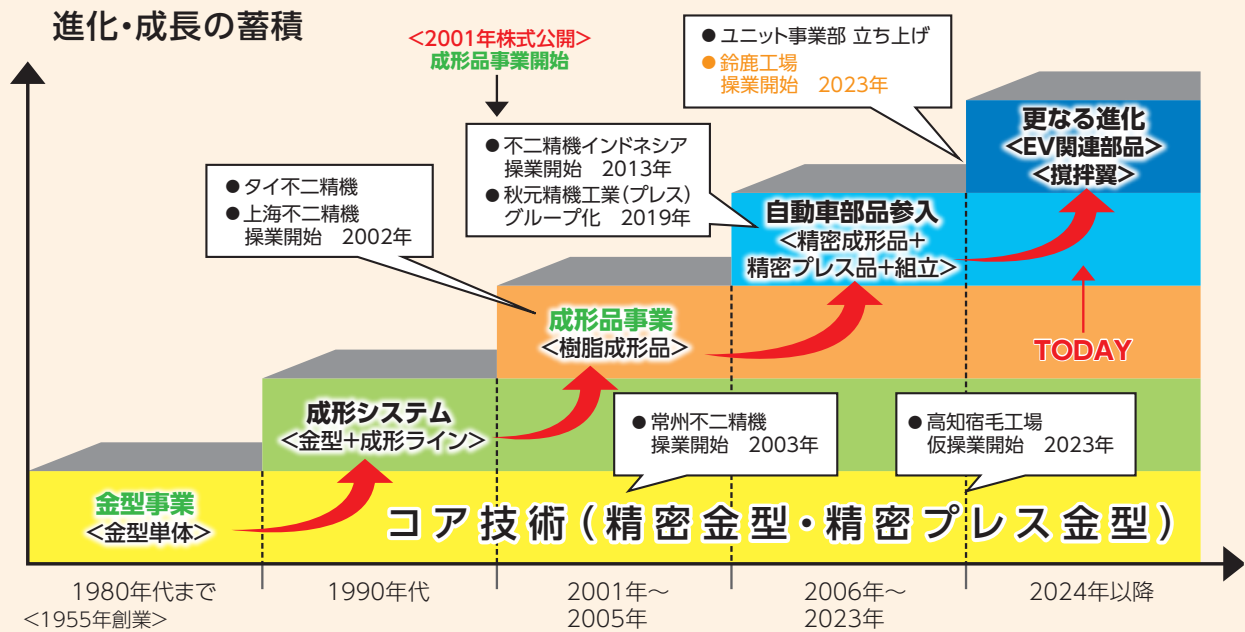
地域別

タイ・インドネシア市場では自動車部品の受注拡大に対応し、成形設備の増強と品質保証体制の整備を進め、売上規模の更なる拡大を目指しております。

中国市場では米中貿易摩擦、中国当局による各種の規制強化や景況感などを勘案し、中国国内市場の新規開拓及び生産性の向上、固定費の削減などにより一定の利益の確保を目指しております。

TOPICS

事業構造の変遷 - 金型から金型+成形品へ -



一貫生産のモデル工場 鈴鹿工場

2023年10月に精密部品の開発・量産を目的に鈴鹿工場を操業し、2024年にプレス機設備・射出成形機の増設を行い、本格的に精密プラスチック成形部品の量産に向けて準備を整えて参りました。

EV関連部品の開発・生産の受注が今後は見込まれ、技術革新を通じて時代をリードする付加価値の高い製品開発に努めて参ります。

不二精機株式会社の新たな柱として、鈴鹿工場の今後にご期待ください。



会社概要

| | |
|--------|---|
| 商号 | 不二精機株式会社 FUJI SEIKI CO., LTD. |
| 設立 | 1965年7月1日 |
| 資本金 | 5億円 |
| 従業員数 | 110名 |
| 事業所 | 本社・松山工場・関東営業所 ほか |
| 主な事業内容 | プラスチックを加工するための射出成形用精密金型及び成形システムの製造・販売 精密成形品その他の製造・販売 |

ネットワーク



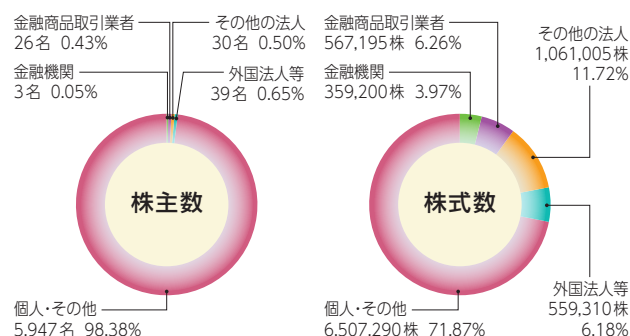
役員

| | |
|---------|------|
| 代表取締役社長 | 伊井剛 |
| 常務取締役 | 藤本由数 |
| 取締役 | 塩井寿史 |
| 取締役 | 北林勝博 |
| 取締役(社外) | 高橋秀昭 |
| 常勤監査役 | 菅一明 |
| 監査役(社外) | 梅田浩章 |
| 監査役(社外) | 橋本豊嗣 |

株式の状況

| | |
|----------|-------------|
| 発行可能株式総数 | 23,720,000株 |
| 発行済株式の総数 | 9,054,000株 |
| 株主数 | 6,045名 |

株式所有者別状況



株主メモ

| | |
|-------------|---|
| 事業年度 | 毎年1月1日から12月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年3月下旬 |
| 基準日 | 定時株主総会 毎年12月31日 期末配当 毎年12月31日 中間配当 実施する場合は6月30日 |
| 単元株式数 | 100株 |
| 株主名簿管理人 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 |
| 特別口座の口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 同連絡先 | 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 TEL 0120-094-777 (通話料無料) |
| 公告方法 | 電子公告 電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載URL https://www.fujiseiki.com/ir/public/ |

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。

ホームページのご案内

ホームページでも、当社の会社情報や最新のIR情報などがご覧いただけます。

<https://www.fujiseiki.com>



トップページ



IR情報ページ